
特定領域研究「ストレンジネスで探るクォーク多体系」理論班主催
「ストレンジネスを含むクォーク多体系分野
の理論的将来を考える」研究会

平成21年2月27日、28日
KKR ホテル熱海（熱海市）

プログラム（予定）

27日午後（13:15-17:00）

O. はじめに（全体セッション） 13:15-13:30 この研究会について

A. Hypernuclei

AI. J-PARC を目指したハイパー核物理 1

13:30-14:00 肥山詠美子（理研） 少数多体系観点からのハイパー核構造研究の現状と将来

14:00-14:30 元場俊雄（阪電大） 中重ハイパー核生成と構造研究の問題点

14:30-15:00 原田融（阪電大） ハイパー核反応の今後

15:00-15:30 山本安夫（都留文科大） YN、YY 相互作用はどこまで分かったか

15:30-16:00 議論と休憩

AII. J-PARC を目指したハイパー核物理 2

16:00-16:30 新村昌治（岐阜大） パリオン-パリオン間相互作用、パリオン-メソン間相互作用について

16:30-17:00 糸永一憲（岐阜大） 弱崩壊研究の将来 (30)

B. Exotic Hadrons/C. Hadrons in Nuclei 合同

BCI. Kaon Nucleon 相互作用

13:30-14:05 兵藤哲雄（東工大） カイラル動力学、 $\Lambda(1405)$ の構造、Kaon-核子現象論

14:05-14:30 佐々木健志（奈良女） Kaon-Nucleon 相互作用: Boson Exchange Approach (仮)

BCII. エキゾチックハドロン ($S = -1$, $B = 1$) 生成

14:30-15:00 Nam, S.I (京大基研) ϕ , $\Lambda(1405, 1520)$ の光生成

15:00-15:25 新山雅之（理研） Photoproduction of $\Lambda(1405)$ and $\Sigma(1385)$ at SPring-8/LEPS (I)

15:25-15:45 Ahn, D.S. (阪大 RCNP) Photoproduction of $\Lambda(1405)$ and $\Sigma(1385)$ at SPring-8/LEPS (II)

BCIII. $\bar{K}NN$ の構造

16:05-16:35 池田陽一（阪大） $\bar{K}NN$ 核の構造

16:35-17:00 小池貴久（理研） Kaon 核生成スペクトル: ポールは見えるか?

D. Lattice QCD

DI. 「現実的シミュレーションの取り組み」

13:30-14:10 金児隆志 (KEK) 厳密なカイラル対称性を持つ現実的シミュレーション (レビュー)

14:10-14:50 浮田尚哉 (筑波大) PACS-CS の取り組み (レビュー)

DII. 「格子 QCD で探るハドロン間相互作用 1」

15:20-16:00 山崎剛 (筑波大) 格子上での散乱・共鳴・束縛状態 (レビューを含む)

16:00-16:25 佐々木潔 (東工大) $I=2$ $\pi\pi$ 波動関数と散乱位相

16:25-16:50 室谷心 (松本大) $K\pi$ チャンネルの散乱長

27日夜（19:30-21:30）

今後の研究方針に関する各班ごとの打合せ

28日午前 (9:00-12:00)

A. Hypernuclei

AIII. 全体討論

9:00-9:30 田村裕和 (東北大) 実験サイドから理論への要望
9:30-12:00 全体討論

B. Exotic Hadrons

BIV. エキゾチックハドロン

9:00-9:30 竹内幸子 (日本社会事業大) クォーク5体系としての $\Lambda(1405)$
9:30-10:00 永廣秀子 (奈良女子大) ベクトル中間子を含むハドロン複合系としての励起状態
10:00-10:30 安井繁弘 (KEK) 重いクォークを含むマルチクォーク系

11:00-11:30 宮林謙吉 (奈良女子大) Belle 実験、理論に期待すること・実験で学べること
11:30-12:00 瀧澤誠 (昭和薬科大) マルチハドロン系との結合を考慮したエキゾチック状態

C. Hadrons in Nuclei

CIV. 核内中間子の性質

9:00-9:30 慈道大介 (京大基研) 核内中間子:理論 (仮)
9:30-10:00 板橋健太 (理研) 核内中間子:実験 (仮)

CV. 中間子核生成反応

10:25-10:55 鈴木隆敏 (東大) Kaon 核研究の現状 (仮)
10:55-11:20 山縣-関原淳子 (奈良女) Kaon 核生成スペクトル: Conversion 効果 (仮)
11:20-11:50 明 孝之 (大阪工大) 複素スケーリング法による核反応における共鳴状態の取扱い

D. Lattice QCD

DIII. 「格子 QCD の現象論への応用」

9:00-9:25 駒佳明 (沼津高専) 重いクォーク間ポテンシャルの物理的意義とその精密化
9:25-9:50 山本新 (京大) 格子 QCD と現象論的モデルによる heavy-heavy-light クォークポテンシャルの研究
9:50-10:15 新谷栄悟 (基研) 格子上でのハドロン相関関数とその OPE 展開

DIV. 「格子 QCD で探るハドロン間相互作用 2」

10:45-11:25 初田哲男 (東大) 格子 QCD に基づく核力研究の取り組み (レビューを含む)
11:25-11:50 根村英克 (理研) 格子 QCD によるハイペロン核子相互作用の研究

28日午後 (13:00-16:00) 全体セッション

13:00-13:20 中野貴志 (阪大 RCNP) Θ^+ 実験の現状

13:20-13:50 肥山詠美子 (理研) A. Hypernuclei のまとめ
13:50-14:20 保坂淳 (阪大 RCNP) B. Exotic Hadrons のまとめ

14:40-15:10 大西明 (京大基研) C. Hadrons in Nuclei のまとめ
15:10-15:40 佐々木勝一 (東大) D. Lattice QCD のまとめ
15:40-16:00 岡真 (東工大) 全体のまとめと議論